

大型クラゲの出現状況

(平成 24 年 9 月上旬現在)

(独) 水産総合研究センター等が行った調査によると、黄海には依然として多くの大型クラゲが分布しており、8 月中旬以降は対馬及び隠岐周辺で出現量が増加しています。また、日本海へ流入した大型クラゲのうち、8 月中旬に能登半島西岸周辺に分布したものについては、9 月上旬ごろに男鹿半島西方の沖合に達する可能性があります。

1 大型クラゲの出現状況

- ・ 8 月 22 日～26 日に、日本～中国間を航行する国際フェリーを使った目視調査では、依然として黄海に多くの大型クラゲが分布している (100 m² あたり平均密度：0.50 個体) 模様です。
- ・ 8 月中、下旬に対馬海峡で実施した目視調査では、対馬北部周辺海域を中心に大型クラゲの出現が認められました。
- ・ 8 月中旬以降、対馬及び隠岐周辺で出現量が増加しており、九州の底びき網漁場でも大型クラゲの出現が認められています。
- ・ 九州北岸～山陰西部沿岸域では、現在のところ非常に少ない状況です。

2 大型クラゲの出現予測について

- ・ 現在、黄海～東シナ海に分布している大型クラゲは、9 月上旬以降、対馬海峡西水道に加えて東水道からも日本海に流入する可能性が示されました。一方、8 月下旬に黄海中央部～西部で確認された大型クラゲについては、今後引き続き黄海内部に滞留する可能性が示されました。
- ・ 対馬海峡西水道から日本海に流入した大型クラゲのうち、8 月中旬に能登西岸周辺に分布したものについては、その後沖合域を北上し、9 月上旬ごろに男鹿半島西方の沖合に達する可能性が示されました。

資料：(独) 水産総合研究センターのホームページ

(<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/Kurage/> kurage_top.html)

(社) 漁業情報サービスセンターのホームページ

(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

担当 秋田県水産振興センター 資源部 高田
電話 0185-27-3003 Fax 0185-27-3004